

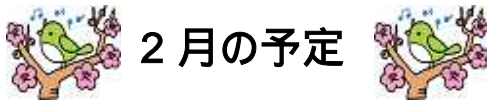
平成 24 年 1 月 25 日 381 号



あゆみだより

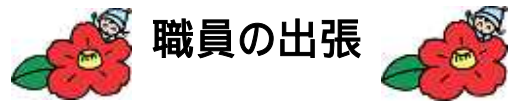
社会福祉法人 豊橋市福祉事業会 豊橋あゆみ学園

園庭の梅の木にピンクのつぼみを見つけました。今年は、いつもより早く咲きそうな気配です。春が待ち遠しいですね。まだまだ寒い日が続きますが、体調管理には気をつけて過ごしましょう。



2月の予定

- 1日(水) 分離保育(ばなな)
- 3日(金) 節分
- 8日(水) 分離保育(みかん)
- 16日(木) 防災訓練
- 20日(月)～24(金)
面接週間
- 27日(月) 誕生会



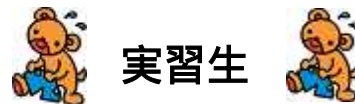
職員の出張

- 6日(月) 市内
PT幾田、ST曾根田
- 24日(金) 蒲郡
PT幾田



外来保育

- Aグループ(10:30～11:30)(佐藤)
 - 2/1日(水)、8日(水)、15日(水)、
22日(水)
 - *28日(火)13:30～14:30
- 座談会を行います。みんなでお話しましょう。



実習生

- 13日(月)～24日(金)
- 名古屋女子大学



研修予定

- 7日(火) あゆみ学園見学研修
ヘルパーさんがきます





2月うまれのおともだち



13日	すみれちゃん	5さい
15日	みゆちゃん	4さい
	ゆなちゃん	4さい
20日	アンドレくん	5さい
25日	かつまくん	4さい
26日	しょうくん	3さい



おたんじょうびおめでとう



むし歯 の仕組みについて

こどもの歯がはえはじめた頃から、むし歯を意識する機会が多くなるのではないのでしょうか？では、むし歯はどのようにしてできるのでしょうか？

むし歯というのは、絵本にあるような小さなむし歯菌が歯をほじくっているわけではありません。歯が酸によって溶けた状態をいいます。歯の表面は、通常だ液によって中性よりもちょっと酸性よりの弱酸性に調整されています。だ液は弱アルカリ性なのですが、口の中の常在菌の影響などで、歯の表面はどうしても弱酸性になっています。そして、食べ物を食べると、口の中は菌が作りだす酸によって、食べている間中、どんどん酸が強くなります。そして、一定以上酸が強くなると歯が溶けはじめる（脱灰（だっかい））ラインがあるのですが、食事が終わるとだ液が口の中を洗ってくれて、アルカリ性で中和してくれて、元の弱酸性に戻っていきます。それと同時に、だ液には再石灰化を促す作用があるので、次のご飯の時までには、溶けかかった歯を元に戻してくれるのです。

私たちの歯というのは、溶けかかって、治って（脱灰と再石灰化）をくり返しています。だから、基本的には、溶けている時間を短くすればむし歯になりにくくなる仕組みです。しかし、食生活が乱れてしまうと、再石灰化が追いつかず、溶けて、溶けて・・・をくり返しむし歯になってしまうのです。

このような仕組みでむし歯はできてしまうため、毎日の食生活に気をつけること、歯みがきをすること、場合によってはかかりつけの歯医者をつくり定期的にみてもらうこと等でむし歯予防につとめられるといいですね。

